

「おいしい松元茶はいかが」

地域の魅力発信 生徒会が企画

6月7日(土)文化祭2
日目に、本校生徒会は、地
元茶の振る舞いと販売を行っ
た。この企画は「学校と地
域をつなぎ、地域の活性化
に貢献したい」という生徒
会役員の発案で計画され、



松元茶の冷茶を試飲しその美味しさに驚くMBCの番組「てくて」の竹之内雄太レポート

今年で2回目。
「皆でつながる松
元」と題し、松元
地域の名産品であ
る「松元茶」のP
Rを行った。当日
は、一番茶の冷茶
が振る舞われ、用
意した70袋の松元
ブランド茶(1000円)



そして当日は、揃いの緑色の法被をはおり、バザーのチケットを求めて体育館を訪れた大勢の一般客に、冷水に20分間抽出した冷茶を振る舞った。さらに「今年の松元茶は寒暖の差が大きかったことから甘味が強い」と味のポイントも紹介。生徒の呼びかけに一般客が次々とブースを訪れ、鮮やかな緑色の冷茶でのどを潤した。

企画のリーダーを務めた生徒会長の久保田萌愛さん(3・6・吉野中)は「多くのの人に喜んでもらえて良

論説 参議院選挙とSNS 情報の扱いには責任を

今回の7月に行われた第27回参議院議員選挙では、情報媒体としてSNSが大きな存在感をもち、選挙に関する様々な情報がSNS上で飛び交った。

SNSの中でも特に影響力をもつ情報媒体として、インスタグラムやXがあげられる。こうした情報媒体からは、誰もが自分の意見を気軽に発信でき、若者が選挙に関心をもち

つきつかけともなっている。しかし、大きなデメリットとして、誰もが自由に発信できることから、誤った情報が多く含まれていることが指摘される。閲覧者の立場としても、閲覧履歴や再生履歴に応じて自分の考えに近いものや自分の関心のある情報ばかりが多

く表示されるいわゆる「フィルターバブル」により、客観的な正しい情報を得て、自分

は選挙の際にSNS上に多くの誤った情報が飛び交い、権者を混乱させている。ルー

マニアの大統領選挙ではSNSが乱用され、選挙の公平性が疑問視された結果、選挙が無効とされるという事件が起きた。SNSの誤った情報が、私たちの日常生活はおろか、民主主義社会で最も大切な選挙結果を歪めていることは大きな脅威だ。

の意見を持つことが難しくなってきた。実際に世界では選挙の際にSNS上に多くの誤った情報が飛び交い、権者を混乱させている。ルー

SNSは、一方向的な意見も、自由簡単に発信できることから、選挙戦では候補者が、自分に有利な多くの情報を発信することになる。政治家同士の争いの場もSNS上が舞台となってきた。今、政治家が発信している情報であっても、真偽の確認は欠かせない。

SNSが多くの人の主な情報源となった今日、今後の選挙はどうなっていくのだろうか。候補者を当選させないための偽情報の発信は公職選挙法では「虚偽事項公表罪」と

の監督になりたいと思う生の退任後、松陽高校の校長として、福元洋介先生が4月に着任された。一学期が経過した今、松陽高校生をどのようにご覧になっているのか、ご本人のプロフィール等も交えて様々な質問にお答えいただいた。

新校長インタビュー

Q もともとは数学の先生

「高校野球



県立松陽高等学校
第17代校長
福元洋介 先生

ふくもとようすけ
福元洋介 先生

昭和42年1月19日生まれ 58歳
大阪に生まれ、4歳のころ鹿児島へ。始良町立建昌小学校、始良町立帖佐中学校、加治木高校、鹿児島大学理学部数学科を卒業。平成元年に本県高校数学科教諭として採用され出水商業高校に赴任。志布志高校、与論高校、鹿児島中央高校で教鞭をとる。県総合教育センター、県教育委員会高校教育研修課勤務を経て、加治木高校教頭、令和7年から本校校長に就任。好きな食べ物は固めのグミ。カラオケやゴルフが趣味で、最近はネットで昔のドラマを見るのが癒しの時間。

自分で限界決めず 自分を信じて突き進め

Q 教員生活で印象に残っている思い出を教えてください。

A まず、自然が豊かで広い敷地に驚きました。直接話をした生徒は多くはないですが、素直な性格の生徒が多い印象です。下校時に校門を出る際、振り返って門札をする生徒をよく見ます。学校に愛着を持っています。生徒も多いと感じますね。

Q 教員生活で印象に残っている思い出を教えてください。

A 平成元年に出水市立出水商業高校に赴任したのが教員のスタートです。そこですぐ念願の高校野球の監督となりました。その最初の県大会で鹿児島商工高

を喫しました。その試合の模様は、雑誌『ベースボールマガジン』に取り上げられました。相手は甲子園に出場した強豪校、こちらは1・2年生のみ部員11名の素人集団のよう

「一人一人が輝ける学校を目指したいです。多彩な学科、豊富なコースを生かし、一人一人の個性を大切に

新生徒会始動 新会長 副会長に直撃

6月の生徒会役員選挙を経ていよいよ松陽高校の新生徒会がスタートした。新会長・副会長に意気込みや目標を聞いた。

生徒会長の山口幹正君(2・3・吉野中)は「誰かの役に立ちたいと強い意志をもって生徒会長になりました。学年関係なく交流し笑顔や活気にあふれる学校を目指します。生徒と先



生徒会長
山口幹正君

生の距離が近く、けじめを大切にしながらも楽しい学校を目指します。全生徒から頼ってもらえる生徒会長になれるように頑張ります」と語った。

生徒会副会長の秋山瑞希さん(2・1・松元中)は「私は自宅が松陽高校に近く、活気ある雰囲気や、楽しそうな生徒たちの姿を見て、ずっとこの学校にあってほしい。大好きな松陽を、安心して自分らしく過ごせ、学校に誇りを持てるような魅力的な学校にしたいです」と学校愛を語った。

同じく副会長の上釜七海さん(2・2・福平中)は「一人一人が輝ける学校を目指したいです。多彩な学科、豊富なコースを生かし、一人一人の個性を大切に